

# 東北・鳥海山、月山 夏山山行

花のトッキングルートを楽しむも、暴風には苦しめられた

2018年7月26日夜～29日

＜参加メンバー＞ 8人(男性2人、女性6人)

＜天候＞ 7/27 晴れ 7/28 晴れ後霧、雨、強風 7/29 雨後霧雨、暴風、後晴れ

## ＜コースタイム＞

7/26 (木)

大阪駅前を20:20発酒田行き夜行バスで出発

7/27 (金)

8:55 酒田庄B T着 ～ レンタカーにて鳥海山鉾立登山口に移動 10:40 着

登山口 11:00 発 ～ 11:10 鉾立展望台 ～ 12:50 賽の河原(水場) ～ 13:50 御浜小屋 ～ 14:23 御田ヶ原 ～ 15:08 七五三掛 ～ 15:23 外輪コースとの分岐点 ～ 17:40 御室小屋(泊、自炊)

7/28 (土)

4:00 起床、5:25 発 ～ 5:50 鳥海山新山頂上 6:05 発 ～ 6:25 御室小屋 6:50 発 ～ 7:31 行者岳 ～ 7:44 伏拝岳 ～ 8:11 文殊岳 ～ 9:03 七五三掛 ～ 9:34 御田ヶ原 ～ 9:50 御浜小屋 ～ 10:34 賽の河原 ～ 11:30 鉾立登山口 ～ レンタカーで月山八合目へ移動 14:10 着、14:35 発 ～ 16:05 仏生池小屋

7/29 (日)

5:00 起床、風雨強く9時頃まで様子を見る

8:55 強風の中を出発 ～ 10:30 暴風状態の中、事故発生の可能性があると判断して月山頂上のすぐ手前で引き返す ～ 11:20 仏生池小屋 11:28 発 ～ 12:47 月山八合目 ～ やまぶしの湯 ～ レンタカーで仙台空港へ(19:00 発のANAで大阪へ)

## ＜山行の概要＞

1日目 夜行バスで酒田に到着後、予約していたレンタカー2台で鳥海山鉾立登山口へと向かう。登山口からは大きな石を敷き詰めた登山路を登る。鉾立展望台からは晴天のため、これから行く鳥海山がくっきりと望まれた。しかし、結局この山行で晴天の日はこの日だけであった。展望台あたりから可愛い沢山の山野草類が出迎えてくれ、緩い傾斜の登山路を写真を撮りながら登るのんびりした歩きができた。賽の河原あたりには雪渓が残っており、水場の水は冷たく美味しかったか。御浜小屋からは翌日に行く月山が遠望でき、この先の千蛇谷コースは沢山の山野草が咲き競うお花畑が続き、飽きることがなかった。途中、急坂や鉄梯子があったりするが大したことはない。

今夏の極暑は東北も例外ではなく、暑さのためペースダウンして御室小屋に着いたのは予定より遅くなった。御室小屋は多くの登山者で賑わっていた。

2日目 早朝、鳥海山新山を周回コースで登る。岩稜コースで結構スリリングなところもあり面白い。頂上に着いた頃からガスが出て、これ以降ガスの中(雲の中)の行動となる。小屋に戻り、下山を開始するが台風12号の影響で風が徐々に強くなる。御浜小屋では風を避ける登山者が一杯で素通りして、一気に下山した。

下山後、月山へとレンタカーを走らせ八合目へ移動した。準備を整えすぐに出発し、風雨が強まる中、この日は仏生池小屋に泊まる。途中の八合目にある弥陀ヶ原は八甲田山の湿原(毛無岱)をミニにしたような素敵などころであった。

3日目 6時頃から行動の予定であったが、暴風雨状態で9時まで様子を見ることに変更し、停滞後行動を開始した。雨は上がり、霧雨状態であったが、風速はおそらく20m位、瞬間的にはもっと強い暴風状態であり、結局のところ頂上はすぐそこと思われたが、事故の危険も想定できる状態で撤退した。残念であったが安全を優先し、事故なく無事下山して、今回の東北山行は終了した。昨年の岩手山も雷雨のため頂上のすぐ手前で引き返したが、雨男から何とか抜け出したものだ。

## 7/27 鳥海山の巻



1. 酒田で借りたレンタカーで鉾立登山口に到着



2. 装備を整え、ストレッチして出発準備



3. さあ出発



4. 早速、路端にホタルブクロがけなげに咲いていた



5. 鉾立展望台



6. 展望台からこれから行く鳥海山の頂上が見えていた(正面奥)



7. 転落防止柵のロープにトンボが並んでとまっていた(この先、御浜小屋あたりまでトンボがなぜかいっぱいいた)



8. このような石を敷き詰めた階段状の登りが続く



9. オトギリソウ



10. シロバナハナニガナ



11. ハナニガナ



12. 石畳の登山路を登る。陰がなく暑い



13. ニッコウキスゲ



14. イワイチョウの群落 このコースは湿潤なためか、湿性植物のイワイチョウが多い



15. カラマツム



16. 雪溪のへりを通る



17. コイワカガミの花(葉は隠れて見えない)



18. チングルマ  
このコースはチングルマが多かった



19. 賽の河原に到着



20. ここでしばし休憩



21. ここには冷たくて美味しい水場があった



22. チングルマとコイワカガミ



23. コバイケイソウ



24. 大きなトンボが草にとまったまま動かない



25. ヤマハハコ



26. ハクサンフウロ



27. ハクサンシャジン



28. トウゲブキ(黄花)とハクサンシャジン



29. 御浜小屋に到着



30. 鳥海湖とその奥にうっすらと月山が見えていた



31. この先が鳥海山新山



32. チングルマの花後の綿毛



33. お花畑の道を進む



34. お花畑 その2



35. シロバナトウチソウ  
ここには沢山群落があった



36. お花畑の御田ヶ原を通過



37. 八丁坂を通過



38. ウサギギク



39. ミヤマキンポウゲ



40. ハクサンイチゲ



41. 七五三掛(しめかけ)を通過



42. 分岐へ続く木道を進む



43. 東北は緯度が高いため、1800mあたりでもハイマツが出てくる



44. 外輪コースとの分岐点、ここを左にとって千蛇谷コースへと進む



45. しばらくトラバース気味に進む



46. 一旦激下りする



47. そして、雪溪を渡る



48. イワギキョウ



49. お花畑の中を小屋目指して進む



50. 御室小屋の屋根が見えてきた



51. アオノツガザクラ



52. チョウカイフスマ



53. 鳥海山頂上 御室小屋に到着



54. 夕食は狭い喫煙コーナーを使わせてもらって自炊する



55. 鳥海山新山の岩壁のアーベントグリューエン(夕焼け)



56. 夕日

## 7/28 鳥海山の巻 その2



57. 早朝、新山へとピークハントに出かける



58. 大きな石を越え頂上へと向かう



59. この頃からややガスリだした



60. 頂上に到着し、しばし景色を楽しむ



61. 新山頂上でパチリ  
しばらくして完全に雲の中に入る



62. オンタデ



63. ガスの中を下る



64. ホソバイワベンケイ



65. イワブクロ



66. 小屋に戻り、装備をまとめて外輪コースの下山コースへと進む



67. チョウカイアザミ



68. 行者岳を通過 この前頃から雨模様となり、カッパを着て行動する



69. 一部に岩稜のルートがあり、鉄梯子を登る



70. 伏拝岳を通過



71. ハイマツと灌木の稜線を進む



72. 文殊岳を通過



73. タカネアオヤギソウ



74. オニシモツケ?



75. 昨日通った千蛇谷コースとの分岐点を通る



76. ネバリノギラン



77. ガスの中を七五三掛通過



78. 御田ヶ原を通過



79. 御浜小屋まで戻ってきたが、強風を避ける登山者で一杯。休憩せずに通過する



80. 石畳の道を下る



81. やや下ったところは風も雨もなく、カッパを脱ぐ



82. 水場のある糞の河原に到着



83. 雲の中を抜けると山の下の方は晴れていた



84. 山形・秋田県境の道標前を通過



85. そして、鉾立登山口に無事下山した

## 7/28 月山の巻



1. レンタカーで今度は月山八合目へと移動し、レストハウス前に車を止める



2. 準備を整え、いざ出発



3. 高層湿原の弥陀ヶ原の木道を進む



4. 案内板



5. 湿原に花は少なく、ギボウシが寂しく咲いていた



6. 弥陀ヶ原を過ぎると、石を敷き詰めた緩斜面の道が続く



7. 風が強くなり、雨も降り出してカッパを着る



8. 風が強くなる中、仏生池小屋がガスの中に見えてきた



9. 小屋に到着し、風が強いためそそくさと中に入る



10. 小屋の中は個室で、こんな感じ



11. 食事はめいめい好きなドリンクを飲んで楽しくいただいた



12. 質素だが美味しい料理であった満足、満足

## 7/29 月山の巻 その2



13. 強風、暴風？の中、小屋を出る



14. ガスと強風の中、いざ出発



15. 強風にあおられながら必死に進む



16. 暴風ともいえる風に飛ばされる仲間も出る



17. 頂上までおそらく100mあるかないかと思われるところで、暴風状態で危険と判断して引き返す決断をした



18. 仏生池小屋に戻り、少しの休憩の後下山を開始



19. やや風が少なくなった下山路



20. 下るにつれガスが薄れてきた



21. 弥陀ヶ原が見えてきた





22. 湿原の弥陀ヶ原がはっきり見えてきた



23. 八合目に到着



24. 八合目駐車場とレストハウス  
これにて今回の山行は無事、事故なく終了した。台風12号は遠く離れた位置にいたが、高山での影響をあらためて感じた山行であった。